

2025 年度 CoSTEP 修了記念シンポジウム

## 「動物を『育てる』『観せる』『伝える』—飼育・造園・ 展示から考える、動物園という場」を開催

### 【概要】

動物園は、動物を「育てる」場であり、「観せる」場であり、そして動物とヒトとの関係を社会に「伝える」場でもあります。飼育、保存、展示、教育、研究といった多様な営みが重なり合う動物園は、命をどのように扱い、どのような距離感で動物と向き合うのかを、私たちに問いかけてきました。

本シンポジウムでは、造園・ランドスケープの立場から全国の動物園における生息環境展示を牽引してきた動物園デザイナーの若生謙二さんと、長年にわたり飼育技術者として現場に立ち、現在は展示環境デザインや生息域外保全に取り組む本田直也さんをお招きします。「育てる」「観せる」という実践の最前線から、動物園がどのように設計され、運営され、社会に開かれてきたのかを共有していただきます。

パネルディスカッションでは、「造園と動物園」「生息環境展示」「ヒトと動物の関係」を軸に、動物園が何を伝え、来園者は何を受け取ってきたのかを議論します。

命を敬い、相手を尊重し、謙虚であることとは何か。その問いを、科学技術コミュニケーションの視点からも捉え直し、専門家と社会、ヒトと動物をつなぐ「伝え方」「関わり方」の可能性を探ります。

動物園という場を通して、人間中心の視点を一度立ち止まって見直し、これからの社会におけるヒトと動物の関係について考えます。

【日 時】 2026 年 3 月 7 日（土）13:00～15:00（12:30 開場）

【場 所】 北海道大学工学部フロンティア応用科学研究棟 2F レクチャーホール（鈴木章ホール）

【主 催】 北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター  
科学技術コミュニケーション教育研究部門 CoSTEP

【対 象】 一般市民

【募集人数】 100 名（先着順）

【参加費】 無料（事前申込不要）

【プログラム】 13:00～15:00 修了記念シンポジウム

ゲスト：若生謙二氏（動物園デザイナー、大阪芸術大学教授）

本田直也氏（本田ハビタットデザイン株式会社代表取締役）

司会/進行：大内田美沙紀（北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）特任助教）

※9:00～13:00 に、ポスターセッション、成果発表会を同会場で一般公開しています。

詳細は、以下 Web サイトをご覧ください。

<https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/event/35590>

**お問い合わせ先**

北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション  
教育研究部門（CoSTEP） 特任助教 大内田美沙紀（おうちだみさき）

T E L 011-706-5324 F A X 011-706-5320

メール [misakiouchida@open-ed.hokudai.ac.jp](mailto:misakiouchida@open-ed.hokudai.ac.jp)

U R L <https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/event/35590>

**配信元**

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール [jp-press@general.hokudai.ac.jp](mailto:jp-press@general.hokudai.ac.jp)



動物を

育てる

観せる

伝える

飼育・造園・展示から考える、動物園という場

2026 **3.7** (土) 13:00 - 15:00 開場 12:30 入場無料

北海道大学 工学部 フロンティア応用科学研究棟 2Fレクチャーホール (鈴木章ホール)

若生 謙二さん (動物園デザイナー、大阪芸術大学教授)  
本田 直也さん (本田ハビタットデザイン株式会社代表取締役)

主催：北海道大学CoSTEP





動物を  
「育てる」  
「観せる」  
「伝える」



飼育・造園・展示から考える、動物園という場

動物園は、動物を「育てる」場であり、「観せる」場であり、そして動物とヒトとの関係を社会に「伝える」場でもあります。飼育、保存、展示、教育、研究といった多様な営みが重なり合う動物園は、命をどのように扱い、どのような距離感で動物と向き合うのかを、私たちに問いかけてきました。

本シンポジウムでは、造園・ランドスケープの立場から全国の動物園における生息環境展示を牽引してきた動物園デザイナー・若生謙二さんと、長年にわたり飼育技術者として現場に立ち、現在は展示環境デザインや生息域外保全に取り組む本田直也さんをお招きします。

「育てる」「観せる」という実践の最前線から、動物園がどのように設計され、運営され、社会に開かれてきたのかを共有していただきます。

パネルディスカッションでは、「造園と動物園」「生息環境展示」「ヒトと動物の関係」を軸に、動物園が何を伝え、来園者は何を受け取ってきたのかを議論します。命を敬い、相手を尊重し、謙虚であることは何か――。

その問いを、科学技術コミュニケーションの視点からも捉え直し、専門家と社会、ヒトと動物をつなぐ「伝え方」「関わり方」の可能性を探ります。

動物園という場を通して、人間中心の視点を一度立ち止まって見直し、これからの社会におけるヒトと動物の関係について考えます。



## 若生 謙二 さん

動物園デザイナー、大阪芸術大学教授

1954年大阪府生まれ。東京大学農学博士。造園史、造園学原論、展示学、ヒトと動物の関係学を専門とし、動物園デザイナーとして全国の動物園で生息環境展示の実現に取り組む。動物園ランドスケープ会議代表、日本展示学会会長。ヒトと動物の関係学会会長・日本造園学会常務理事・関西支部長を歴任。1998年日本造園学会賞受賞。2011年日本造園学会特別賞受賞。2015年、2016年宇部市とさきわ動物園「中南米の水辺」等の施工で日本公園緑地協会、国土交通省都市交通局賞受賞。2022年 上野動物園パンダのもりの設計で日本造園学会作品賞受賞。2024年日本造園学会上原敬二賞受賞。



## 本田 直也 さん

本田ハビタットデザイン株式会社代表取締役

1976年札幌市生まれ。1996年より26年間、札幌市円山動物園にて飼育技術者として勤務し、多くの希少野生動物の飼育・繁殖・保全・施設設計に携わる。絶滅危惧種である「ヨウスコウワニ」の世界初となる屋内繁殖に成功するなど、国内初の繁殖成功時に贈られる「繁殖賞」を計9回受賞。2022年、飼育下における野生生物の保全・研究を目的とした「一般社団法人野生生物生息域外保全センター」を全国の飼育技術者、研究者らと共に北海道恵庭市に設立、代表理事に就任。日本の動物園における飼育環境・展示デザインの向上と、飼育技術者の立場からの野生生物保全に貢献するとともに、この分野における人材の育成にも力を注ぐ。

司会/進行

大内田 美沙紀 サイエンスイラストレーター、北海道大学CoSTEP特任助教

今回のビジュアル制作も担当し、生息環境展示の動物園を描いた。モデルとなった動物園：上野動物園パンダのもり（パンダ）、飯田市動物園ペンギンの丘（ペンギン）、天王寺動物園アフリカサバンナ（キリン・エランド・ライオン）、札幌市円山動物園爬虫類・両生類館（ヨウスコウワニ）、宇部市とさきわ動物園（シロテテナガザル）。



北海道大学 大学院教育推進機構  
科学技術コミュニケーション教育研究部門  
(CoSTEP・コーステップ)

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目  
email : costep\_office@ml.hokudai.ac.jp  
phone : 011-706-5320

<https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp>

CoSTEPは科学技術の専門家と市民の橋渡しをする人材を育てる教育組織です。

